



**UPSS – X2,A3 シリーズ**

**メール設定手順書**

2018 年 7 月 2 日

UPS ソリューションズ株式会社

●変更履歴

| 版数  | 日付       | 変更内容                   |
|-----|----------|------------------------|
| 1.0 | 2018/7/2 | 新規作成                   |
| 1.1 | 2018/8/9 | 表紙追加及びメール送信についての注意事項記載 |
|     |          |                        |
|     |          |                        |

# X2,A3 シリーズへのメール設定方法

X2,A3 シリーズにメール設定する際の手順をご案内致します。

## 1.1. 送信元の設定

X2,A3 シリーズの管理画面(GUI)からの設定方法を記載します。

- ① 端末から、LAN I/F カードへ Login をして頂き、UPS の表示画面上、「基本設定」を表示して「メール設定」をクリックしてください。



- ② 「メール設定」をクリックすると下記の「メールサーバ設定」画面が表示されます。



- ③ 「メール設定」画面内の下記項目を入力し「OK」ボタンをクリックして下さい。

・ UPS E-mail アドレス

UPS からメールが送信される際に「送信元アドレス」としてメールに付加されます。

※@を含んだメールアドレスを入力して下さい。

※指定したメールサーバで、送信可能なアドレスであること

・ 送信メール (SMTP)

| 項目名          | 説明  |
|--------------|---|
| サーバアドレス      | SMTP サーバの IP アドレス、またはネットワーク名を設定します。   |
| ポート番号        | SMTP サーバのポート番号を設定します。<br>「暗号化」で選択した値によりポート番号が設定されます。<br>暗号化 なし：25<br>SMTP over SSL/TLS：465<br>STARTTLS：587  |
| 認証           | メール送信時の認証方法を設定します。<br>なし 認証は行いません。<br>POP before SMTP メール送信の前に POP 認証を行います。アカウント・パスワードは、「受信メール (POP3)」の設定を使用します。<br>SMTP 認証 (自動選択) UPS が自動的に選択した認証機構名を使用して、SMTP 認証を行います。(SMTP サーバがサポートしている認証機構名がわからない場合は「SMTP 認証 (自動選択)」を選択してください。)<br>SMTP 認証 (PLAIN) SMTP 認証を行います。(認証機構名は PLAIN です)<br>SMTP 認証 (LOGIN) SMTP 認証を行います。(認証機構名は LOGIN です)<br>SMTP 認証 (CRAM-MD5) SMTP 認証を行います。(認証機構名は CRAM-MD5 です) |
| 送信メールアカウント   | SMTP サーバへの認証用のアカウント名です。(SMTP 認証を使用する場合に使用します)   |
| パスワード        | SMTP サーバへの認証用のパスワードです。(SMTP 認証を使用する場合に使用します)  |
| 暗号化          | 認証で「SMTP 認証」を選択した場合に選択します。<br>なし 暗号化は行いません。<br>SMTP over SSL/TLS* 暗号化を行います。SMTP サーバの設定に合わせて選択してください。<br>STARTTLS 暗号化を行います。  |
| メール送信遅延時間    | SMTP サーバにメールを送信する時の遅延時間 (秒) を設定します。   |
| SMTP サーバチェック | 送信メール (SMTP) の設定が正しいか確認します。   |

・ 受信メール (POP3)

| 項目名        | 説明   |
|------------|--|
| メール確認を行う*1 | POP3 サーバへメール受信確認を行うかを指定します。チェックを外すと POP3 サーバへの受信メール確認を行いません。   |
| メール確認間隔    | 設定された時間毎に、POP3 サーバに受信メールの確認を行います。  |
| サーバアドレス    | POP3 サーバの IP アドレス、またはネットワーク名を設定します。  |
| ポート番号      | POP3 サーバのポート番号を設定します。<br>「暗号化」で選択した値によりポート番号が設定されます。<br>暗号化 なし：110<br>POP over SSL/TLS：995<br>STLS：110   |
| 認証         | USER/PASSWORD POP3 認証時に USER と PASS コマンドを使用します。<br>APOPOP3 認証時に USER と PASS コマンドの代わりに APOP コマンドを使用するかどうかを指定します。POP3 サーバが APOP のみに制限されている場合に指定します。POP3 サーバの設定に合わせて選択してください。 |
| 受信メールアカウント | POP3 サーバへの認証用のアカウント名を入力します。  |
| パスワード      | POP3 サーバへの認証用のパスワードを入力します。   |
| 暗号化        | 「メール確認を行う」でチェックした場合、または送信メール設定で認証に「POP before SMTP」を選択した場合に選択します。<br>なし 暗号化は行いません。<br>POP over SSL/TLS*2 暗号化を行います。POP3 サーバの設定に合わせて選択してください。<br>STLS 暗号化を行います。              |

## 1.2. イベントの設定

1. メイン画面から「イベント設定」をクリックすると下記画面が表示されます。

E-mail にカーソルを合わせてチェックを入れると設定できるメールの項目が表示されます。



2. アラートメールのイベント内容は下記の内容にチェックをすることで変化します



標準設定：標準的なイベント

高度な設定 (UPS 状態関連)：故障の詳細など、UPS 動作の詳細に関するイベント

高度な設定 (UPS 管理システム関連)：UPS の管理に関するイベント

3. アラートメールを選びイベントをクリックすると項目の色が変わり、右下の設定項目が利用できるようになります。



4. 設定項目の E-Mail 送信先をクリックすると下記画面になります。※項目内容は下記に記述します。

| No. | 有効                                  | 送信先アドレス            |
|-----|-------------------------------------|--------------------|
| 1   | <input checked="" type="checkbox"/> | xxxxxx@ups-sol.com |
| 2   | <input type="checkbox"/>            |                    |
| 3   | <input type="checkbox"/>            |                    |
| 4   | <input type="checkbox"/>            |                    |
| 5   | <input type="checkbox"/>            |                    |

① E-mail を送信する

チェックを入れることによって E-mail の送信を有効にする

② 有効

チェックを入れることにより送信先アドレスを有効にする

③ 送信先アドレス

メールの送信先は、全イベント設定で Max5 件となります。

④ 送信先を全てのイベントに反映する

設定した送信先アドレスと有効のチェックを全イベントへ反映する。

5. 送信先設定の終了後、メール通知条件画面に戻り「テスト送信」をクリックすることにより、テストメールの確認が行えます。

| No.  | イベント             | 設定状態 | 変更 |
|------|------------------|------|----|
| 0101 | 停電 (交流入力電圧異常)    | 無効   | 可  |
| 0102 | 停電 (交流入力電圧異常) 復旧 | 無効   | 可  |
| 0141 | 重故障発生            | 有効   | 可  |
| 0142 | 重故障復旧            | 有効   | 可  |
| 0143 | 軽故障発生            | 有効   | 可  |
| 0144 | 軽故障復旧            | 有効   | 可  |
| 0503 | スケジュール停止予告開始     | 無効   | 可  |
| 0505 | 回復不能 (スケジュール停止)  | 無効   | 可  |
| 0506 | 回復不能 (リモート停止)    | 無効   | 可  |
| 0507 | 回復不能 (停電)        | 無効   | 可  |
| 0508 | 回復不能 (バッテリー電圧低下) | 無効   | 可  |
| 0510 | シャットダウン前処理実行     | 無効   | 可  |

※メール通知条件で、有効になっているイベントのみメール送信される設定となりますので

テストメール送信時には、設定状態が「有効」になっていることをご確認ください。